

「ぶらりカフェ」で地域デビュー

～公民館を第三の居場所に～

福岡市野芥公民館【公立公民館】

館長 井口 孝子

主事 橋本 須磨子

1 事業名

福岡市公民館初の地域カフェ
「ぶらりカフェ」開設



2 事業の目的

公民館をより多くの住民が気軽に利用でき、交流できる居場所づくり

3 事業の実施主体

公民館主催事業

4 連携・協力機関・団体等

自治協議会



5 事業予算

年間 4 万～5 万
(コーヒー 砂糖代等)

6 実施に至る経緯

公民館は、生涯学習の場、地域コミュニティの拠点として多くの方に利用されていますが、一方で特別に用件がない人には、敷居の高い場所になっている様です。特に、定年後の男性は自ら地域活動に参加するのが苦手の様ですが、これまで培われた社会での経験や知恵を町づくりに生かしていただく為には、気軽に立ち寄れて、地域の人と顔見知りになれる「居場所づくり」が必要と考え、平成 24 年 9 月、コーヒーコーナー「ぶらりカフェ」を開設しました。

カフェは、毎週水・金・土曜日の 14 時～16 時 館長と職員 1 人が対応しています。



7 プログラム作成の視点

設定時間内は自由に利用していただく事が基本ですが、不定期にテーブルマジックやコンサート、講話など取入れています。

また、野芥校区が早良区で高齢化率が1位という事もあり、自分自身が積極的に健康に関心を持ち、健康寿命を延ばす事を目的に「医療カフェ」を月に1回開催しています。

地域内の医療機関の協力を得ながら、毎回、医療の専門家や、行政から講師を招き、20～30分のお話と参加者からの質問を交えて、1時間を設定しています。「医療カフェ」は平成25年7月から3年目に入り定着しています。



＊27年度「医療カフェ」のテーマ＊

「早めに予防、尿漏れ対策」

「100歳までの健康管理」

「認知症サポーターをご存知ですか」

「老人の呼吸器疾患について」

「デイサービスで感じること」

「いつまでも口からおいしく食べるために」

「老人ホームってどんなところ？」

8 事業の内容

「地域の事がもっと知りたい」「地域事業や公民館事業に関わりたい」がどうすれば良いのかわからない、また、逆に全く関心がない人たちに「住民一人ひとりが町づくりの担い手」である事を公民館のコーヒーコーナー「ぶらりカフェ」に足を運んでもらう事で地域を知り、地域デビューのきっかけに繋げていただくための事業です。



9 事業の成果

人々が暮らしていく上で重要な「家庭」（第一の居場所）、「学校・職場」（第二の居場所）そして他の人と交流できる「カフェ・公園」（第三の居場所）として4年目に入りました。

自治協議会からスポーツ紙を含む3紙の提供もあり、これまでに延べ5,000人以上の利用がありました。

「お菓子は持ち込まない」というルールだけで自由に時間を過ごされ、顔見知りも増えた様です。

特に成果を求めず、継続することに意義があると考えます。



10 今後の課題

利用者が2~3人の時、椅子が足りないくらい多い時と様々ですが、人数にこだわらず、「また来たい」と思っただけの居心地の良い地域の居場所になればと思います。

また、自宅介護者の集いや、認知症サポーターの情報交換も含め、利用者の中から何か新しい活動が生まれてくるような場所になれば幸いです。



11 お問い合わせ先

福岡市野芥公民館

〒814-0171 福岡市早良区野芥7丁目23番20号

Tel: 092-862-3119 FAX: 092-862-3122

E-mail: noke100@jcom.home.ne.jp